

第85期 株主通信

2021年4月1日▶▶2022年3月31日

高める、つくる、そして、支える。



熊谷組



ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申しあげます。

ここに第85期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の事業の概況についてご報告申しあげます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

2022年6月

取締役社長 櫻野 泰 則

当期の業績

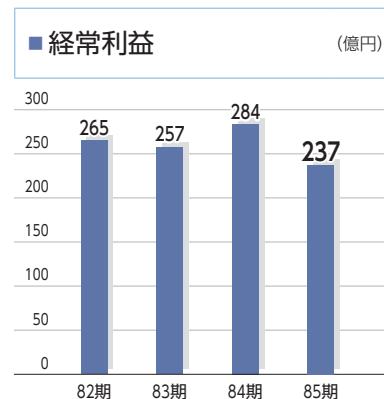
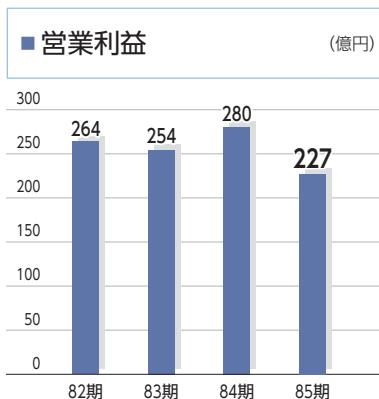
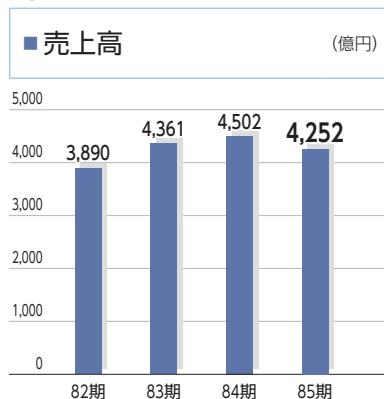
当連結会計年度における我が国経済は、企業収益は新型コロナウイルス感染症の影響が残る中で海外経済の改善や供給制約の緩和を背景に持ち直しの動きが続きましたが、ウイルス変異株による感染症流行の断続的な発生から個人消費や生産が足踏み状態となり、景気の回復は緩やかなものにとどまりました。

建設業界におきましては、住宅建設は横ばい圏内で推移しましたが、企業の建設投資は事務所や店舗等が牽引するかたちで増

加基調となり、公共投資も東日本大震災の復旧・復興需要の減少等により弱含みながらも関連予算の執行により高水準を保つなど、総じて事業環境は良好な状況にありました。

このような経営環境のもと、当社グループは2021年5月に策定した①建設請負事業の深化、②建設周辺事業の進化、③新たな事業領域の開拓、④経営基盤の強化を基本方針とする『熊谷組グループ 中期経営計画(2021～2023年度)～持続的成長への弛まぬ挑戦～』にグループ一丸となって取り組み、持続的成長への挑戦を続けているところであります。また、株主還元への拡充並び

連結業績ハイライト



に資本効率の向上を図るため総額100億円規模の自己株式を取得する方針を決定すると共に、当該方針に基づき、当連結会計年度において、約40億円の自己株式の取得を実施しました。

当連結会計年度における当社グループの連結業績につきましては、売上高は、手持工事の減少等により前連結会計年度比5.6%減の4,252億円となりました。利益は、売上高の減少並びに売上総利益率の低下に伴う売上総利益の減少等により、営業利益は227億円、経常利益は237億円となりました。また、法人税、住民税及び事業税等の計上などにより、親会社株主に帰属する当期純利益は158億円となりました。

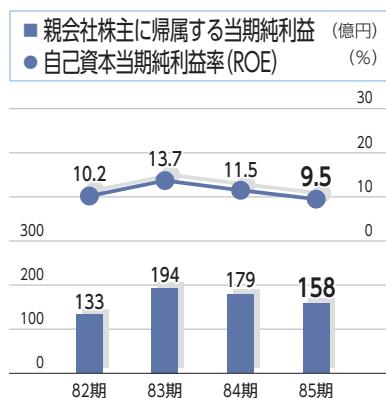
対処すべき課題

今後の我が国経済は、政府の各種政策の効果や感染症の収束により経済社会活動が正常化に向かうことが期待されますが、新たな変異ウイルスの出現やロシアのウクライナ侵攻に伴う資源価格の上昇等により経済が再び減速する可能性があり、景気は依然として先行き不透明な状況にあります。

建設業界におきましては、民間企業の建設投資は企業収益の改善等を背景に持ち直しの動きが続くと思われ、また、公共投資は2022年度予算において前年度とほぼ同水準が確保されるなど引

き続き防災・減災、国土強靱化への計画的な投資が見込まれております。また、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えたインフラ整備の動きは、今後の官民の設備投資を一定程度下支えすると考えられます。しかしながら、当連結会計年度にもみられた建設資材の調達遅延や継続的な原材料価格の上昇については業績の下振れリスクとして注視していく必要があります。

このような状況のもと、当社グループは2021年5月に、社会から求められる建設サービス業の担い手として“限りある資源が循環し、ひと・社会・自然が豊かであり続ける社会”の実現に貢献する長期構想を定めると共に、2023年度の連結売上高4,700億円・連結経常利益330億円を財務目標に定めた『熊谷組グループ 中期経営計画(2021～2023年度)～持続的成長への弛まぬ挑戦～』を策定しました。本計画にグループ一丸となって取り組み、持続的成長への挑戦を続けてまいります。





熊谷組のSDGsの取り組み

当社は2019年4月に策定したESG取組方針のもと、当社グループが保持する技術、経験、ノウハウを活用して新たな価値を創造し、SDGsに代表される社会課題の解決に貢献しています。

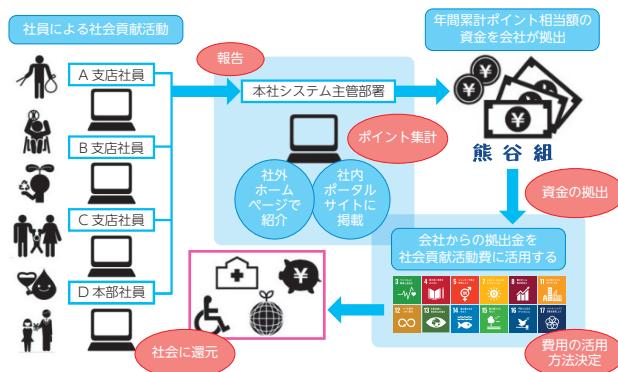
熊谷組スマイルプロジェクト

当社は、2019年より社会貢献活動のプラットフォーム「熊谷組スマイルプロジェクト」を立ち上げ活動しています。本プロジェクトは、マッチングギフトの仕組みを応用し、社会貢献活動に参加した社員数を集計して、年度ごとの累計人数に応じた社会貢献費を会社が拠出するものです。社員ひとり一人の社会貢献への取り組みが一つになって、さらに大きな社会貢献へとつながる仕組みです。

拠出金は、当社独自の社会貢献活動である「KUMAGAI STAR PROJECT」の活動や自然災害発生時の義援金のほか社会課題の解決に取り組む4つの団体への支援などに充当しています。

2021年度はコロナ禍の影響で活動に制約はありましたが、感染対策を行いながら実施しました。

また2022年4月には、ウクライナ及び避難先において生活が困難な状況にある方々への人道的支援として、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) を通じて寄付を行いました。



4つの支援団体

- 認定NPO法人 JUON NETWORK
- NPO法人 子育てひろば全国連絡協議会
- 公益財団法人 日本対がん協会
- 認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ



地域美化活動

事業所や作業所の近隣清掃活動や美化活動を積極的に行っています。



現場見学会

地域の皆様や児童、生徒を対象とした現場見学会を行っています。



子どもたちへの学習支援

近隣の学校の児童、生徒を対象に学習支援を行っています。





KUMAGAI STAR PROJECT

KUMAGAI STAR PROJECTは、当社の営業拠点のある国で行う「国際社会貢献としての学校校舎建設」プロジェクトです。これまでミャンマー連邦共和国にて3校の小中学校の校舎を建設しました。また、奨学金の支給や、生徒が中学校を卒業するまで手紙などで交流する「見守り社員制度」を設け、多くの社員が関わっています。

第1弾 ティライン小学校



第2弾 テピチャウン小中学校



第3弾 ミョーハウンイースト小中学校



事業の取り組み

防災・減災、国土強靱化への取り組み

当社における無人化施工の取り組みは長く、甚大化する自然災害に対し、迅速で安全な対策を講じ地域の皆様を支えていき、2016年の熊本地震では崩壊した阿蘇大橋地区の斜面对策工事を施工しました。二次被害を防ぎながら緊急の防災対策が求められ、同技術を全面展開し、全工程においてi-Constructionと連動した緊急時の新たな事業マネジメントを実現しています。



ベトナムで再生可能エネルギー事業に参画

当社は、2021年3月、Binh Dinh TTP Energy & High Technologyの株式を30%取得し、QAIR International社と共に、ベトナムCat Hiepメガソーラー事業を運営しています。さらに、Truong Thanh Vietnam Group JSC社とベトナムにおける再生可能エネルギー事業の開発、事業運営を共同で実施するため、戦略的業務提携契約を締結しました。



土木

軽米尊坊ソーラー新設工事



画像提供：株式会社レノバ

発注者：株式会社関電工

2021年10月に、岩手県九戸郡軽米町で株式会社レノバが運営を開始した敷地面積約113.9ha、設備容量40.8MWの大規模太陽光発電所です。フラットな地形を最大限に活かし、山林が有していた保水能力も維持できるよう自然環境にも配慮されています。当社は事業区域のうち、土木工事を中心に伐採工、切土、盛土、防災工事等を担当しました。

上坪浄水場更新事業施設建設工事（30国補上坪更新第1号）



発注者：ひたちなか市水道事業所

ひたちなか市の水道水の約7割を担う上坪浄水場は、供用開始から50年以上が経過し、構造物の劣化や設備の老朽化と耐震性能不足であったことから、安全安心な水道水を安定して供給するため、隣接地に新しい浄水場を建設する事業です。本事業は新たに鉄筋コンクリート造の池構造物等を建設するものであり、当社は、沈殿池や急速ろ過池等の土木工事及び配水ポンプ棟や管理棟等の建築工事を担当しました。

北陸新幹線、坂井高架橋



発注者：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構

北陸新幹線工事における金沢から敦賀間のうち、延長距離2,513mにおいてラーメン高架橋33連、RC場所打桁橋57連、オープンケーソン基礎5基等を建設する工事です。本工区は当社が施工する北陸新幹線関連工事において後発の発注工事であり、当初より厳しい工期となっておりますが、新たに開発し特許取得した鋼製型枠を採用することで、工数を大幅に削減し、工期内に竣工することができました。

熊本3号中尾山トンネル新設工事



発注者：国土交通省

熊本県八代市を起点として鹿児島市へと至る全長約140kmの高規格幹線道路「南九州西回り自動車道」のうち、水俣市長野町に位置する全長1,428mの道路トンネルを施工しました。本トンネルが貫く中尾山の地質は、非常に軟弱な地盤であるため、「DI」という珍しい支保パターンを採用し、覆工・インパートにも補強鉄筋を施すことにより、大規模地震の耐震対策もなされています。

建築

SGリアルティ東大阪



発注者：SGリアルティ株式会社

デリバリー事業を担う佐川急便株式会社と、ロジスティクス事業を担う佐川グローバルロジスティクス株式会社が入居する大型物流施設です。太陽光発電と蓄電池設備を導入し、二酸化炭素を発生しない電力を利用しながら一次エネルギー消費量実質ゼロを実現しました。環境に配慮した建物として「BELS(建築物省エネルギー性能表示制度)最高ランクの「ZEB」認証を取得しています。

ブランズタワー豊洲



発注者：
東急不動産株式会社
株式会社NIPPO
大成有楽不動産株式会社
JR西日本プロパティーズ株式会社

地上48階建て、最高高さ180.5m、総住戸数1,152戸の東京湾を望むベイサイドにそびえる中間免震構造の超高層分譲マンションです。敷地中央に配置された大きなプロムナードが賑わいをもたらし、内部4階には木の樹洞(うろ)をイメージした天井高10mのグランドエントランスホールをはじめ多様な施設を備えています。更に33階のラウンジからは水辺も都心も望むことができます。

広島市立北部医療センター安佐市民病院



発注者：地方独立行政法人広島市立病院機構

2022年5月、JRあき亀山駅前に高度先端医療機能と災害拠点機能を併せ持つ病院として開院しました。広島市北部、広島県北西部及び島根県の一部を含む広大な地域に貢献する基幹病院として、ドクターヘリ対応のヘリポートを整備し「へき地医療を支える拠点」としての役割を担っています。免震構造で、最大4,000人が収容でき、大規模災害へのBCP対応が可能な施設です。

早稲田大学4号館 国際文学館(村上春樹ライブラリー)



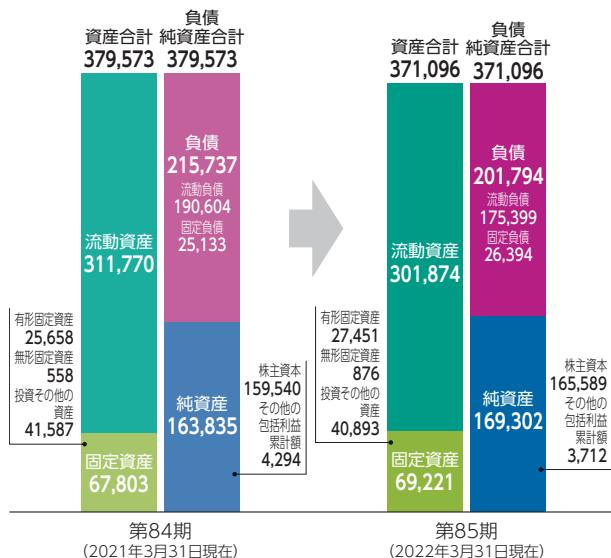
発注者：
学校法人早稲田大学

小説家村上春樹氏が自らの作品を早稲田大学に寄贈、寄託したことを契機に、隈研吾氏の設計により、早稲田キャンパス4号館をリノベーションし、2021年10月に開館しました。トンネルをイメージした象徴的な流線形のファサードは「アコヤ材」を使用し、地下1階から昇る階段本棚、家具やサイン、細部にまでこだわりを持った建物です。村上文学の研究を行うと共に、国際文学、翻訳文学に関する世界の交流拠点となることを目指しています。

連結財務情報（要約）

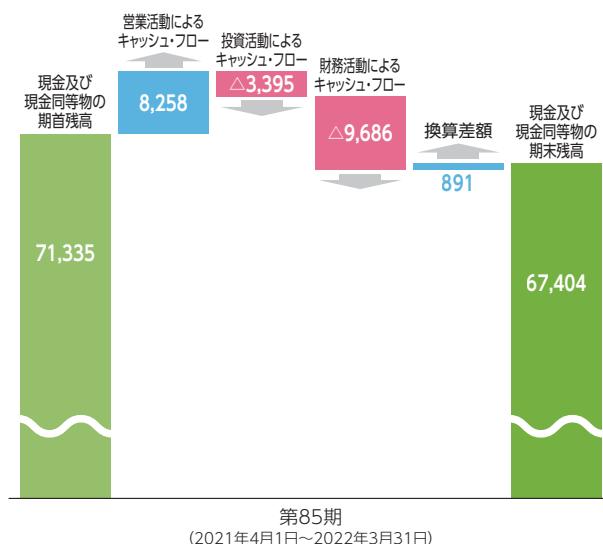
■ 連結貸借対照表の状況

(百万円)



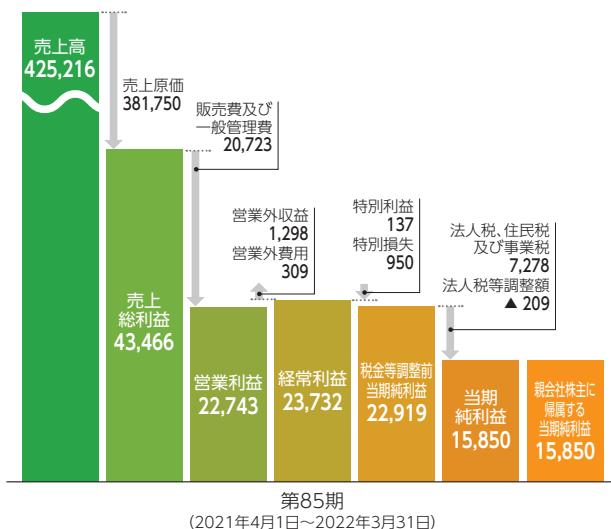
■ 連結キャッシュ・フロー計算書の状況

(百万円)



■ 連結損益計算書の状況

(百万円)



ポイント

■ 連結貸借対照表

総資産は3,710億円と前期末に比べて84億円減少しました。これは、JV構成員に対する債権の減少や還付見込みの消費税の回収等による未収入金の減少などによるものです。また純資産は利益剰余金の増加などにより、1,693億円となりました。自己資本比率は前期末に比べて2.4ポイント向上し45.6%となりました。

■ 連結損益計算書

売上高は前期に比べて250億円減少の4,252億円となり、売上高の減少並びに売上総利益率の低下に伴う売上総利益の減少等により経常利益は237億円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は法人税等の計上により158億円となりました。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

税金等調整前当期純利益の計上等により、営業活動は82億円の資金増加となりました。投資活動では有形固定資産の取得による支出などにより33億円の資金減少となりました。財務活動では配当金の支払いや自己株式の取得などにより96億円の資金減少となりました。これらの結果、現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べて39億円減少の674億円となりました。

単体の業績について

受注高は、前期比23.6%増の3,502億円となりました。このうち、土木工事は1,108億円、建築工事は2,394億円であり、これらの発注者別内訳は官庁27.3%、民間72.7%であります。

売上高は、同8.1%減の3,310億円となりました。このうち、土木工事は940億円、建築工事は2,369億円であり、これらの発注者別内訳は官庁19.8%、民間80.2%であります。

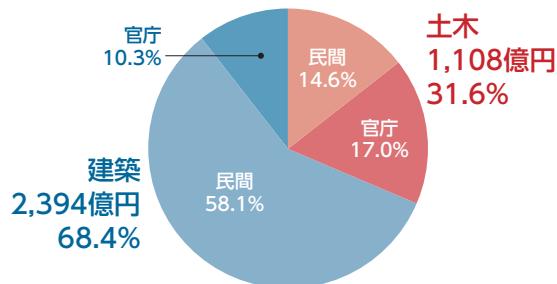
この結果、翌事業年度への繰越高は、同4.1%増の4,854億円となりました。

利益につきましては、経常利益は199億円、当期純利益は137億円となりました。

■ 損益等の状況

区 分	85期	前期比
受 注 高	3,502億円	(23.6%増)
売 上 高	3,310億円	(8.1%減)
繰 越 高	4,854億円	(4.1%増)
当 期 純 利 益	137億円	(8.8%減)

■ 受注高構成



主な受注工事

土木

- 東名高速道路(特定更新等)酒匂川橋他2橋床版取替工事：中日本高速道路株式会社
- 名古屋第二環状自動車道西條高架橋他16橋耐震補強工事：中日本高速道路株式会社
- 奥山の杜グリーンセンター第2・3・4工区埋立地建設工事：株式会社ミダック
- 水ヶ崎発電所土木設備更新工事：旭化成株式会社



奥山の杜グリーンセンター第2・3・4工区埋立地建設工事

建築

- いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業 施設建築物等新築工事：いわき駅並木通り地区市街地再開発組合
- (仮称)宮古島リゾートホテル計画新築工事：三菱地所株式会社
- 愛知学院大学末盛キャンパス建設整備工事：学校法人愛知学院
- 防府市新庁舎(庁舎棟・福祉棟)建設(建築主体)工事：防府市



いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業施設建築物等新築工事

ESG配慮型の不動産ファンド事業に本格投資

2022年2月、当社は、住友林業株式会社(以下、住友林業)並びに住友林業100%子会社の米Crescent Communities, LLCが運用を開始した、米国不動産私募ファンドに参画しました。

成長が著しいサンベルト※1地域の有力な都市圏において、賃貸集合住宅4件(総戸数約1,000戸、資産規模USD580百万(約700億円))を開発し、5年間の運用計画とし、全物件でLEED認証※2またはNGBS認証※3を取得するESG配慮型のファンドです。

本ファンドへは、当社を含む複数の日本企業が参画し、各企業がこれまで培ってきた多様な知見を活かしながら、開発プロジェクトを推進します。

当社は、「中期経営計画(2021~2023年度)」の事業戦略の一つである「建設周辺事業の進化」のもと、不動産開発事業への取り組みに注力しています。住友林業との連携による本ファンドへの投資により「建設周辺事業の進化」を加速させ、収益源多様化による安定収益の確保を目指します。

また、当社はESG取組方針に則り、環境認証の取得や中大規模木造建築の技術開発を進めています。不動産開発事業への投資分野においても同方針に則り、持続可能なコミュニティーの実現に貢献してまいります。

※1 サンベルトとは北緯37度線以南の温暖な地域を指す。ハイテク産業、航空・宇宙産業、レジャー産業などの先端産業が発展している。

※2 LEED(Leadership in Energy & Environmental Design)認証とは、建物と敷地利用についての環境性能評価システム。

※3 NGBS(The National Green Building Standard)認証とは、米国国家規格協会が環境配慮型の戸建住宅や集合住宅の評価制度として唯一認めている認証。



NOVEL Beach Park(フロリダ州)

CDP気候変動部門で最高評価の「Aリスト」に選定されました



当社は、国際的な環境情報開示システムを運営する非営利団体であるCDPより、気候変動部門において最高評価である「Aリスト」に選定されました。

CDPは、世界主要企業の環境活動に関する情報を収集・分析・評価し、これらの結果を投資家向けに開示しています。2021年は約13,000社が質問書に回答しており、気候変動部門においては世界で200社、日本では当社を含め56社がAリスト企業として認定されています。今回、当社の温室効果ガスの排出削減、気候リスク緩和、低炭素経済構築などの取り組みが評価されました。

さらに、企業が気候変動課題に対してサプライヤーと効果的に協働しているかを評価した「サプライヤー・エンゲージメント評価」においても、最高評価である「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されております。

今後も、気候変動対応において更なる貢献ができるよう取り組んでまいります。

会社の概要

(2022年3月31日現在)

創業 1898年1月
設立 1938年1月
資本金 301億851万615円
従業員数 2,626名

主要な営業所 (2022年7月)

本店

福井市中央2丁目6番8号
〒910-0006 TEL(0776)21-2700

東京本社

東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL(03)3260-2111

北海道支店

札幌市中央区大通西7丁目3番地1
〒060-0042 TEL(011)261-7271

東北支店

仙台市青葉区上杉5丁目3番36号
〒980-0011 TEL(022)262-2811

首都圏支店

東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL(03)3260-4750

名古屋支店

名古屋市中区栄4丁目3番26号
〒460-8402 TEL(052)238-3011

技術研究所

つくば市鬼ヶ窪1043番地
〒300-2651 TEL(029)847-7501

海外拠点

ベトナム、インドネシア、ミャンマー

北陸支店

金沢市広岡2丁目13番5号
〒920-8721 TEL(076)208-3230

関西支店

大阪市西区靉本町1丁目11番7号
〒550-0004 TEL(06)6225-2226

中四国支店

広島市中区大手町4丁目6番16号
〒730-0051 TEL(082)241-3222

四国支店

高松市木太町3027番地1
〒760-0080 TEL(087)862-2011

九州支店

福岡市中央区渡辺通4丁目10番10号
〒810-0004 TEL(092)721-0011

沖縄支店

那覇市泉崎1丁目21番13号
〒900-0021 TEL(098)862-7829

(注)2022年7月に北海道支店の所在地を上記住所へ変更します。

役員 の 状 況

(2022年6月29日現在)

取締役及び監査役

取締役社長 (代表取締役)	櫻野 泰 則	取締役	吉田 栄
取締役 (代表取締役)	嘉藤 好 彦	取締役	岡田 茂
取締役 (代表取締役)	小川 嘉 明	取締役	桜木 君 枝
取締役	日高 功 二	取締役	奈良 正 哉
取締役	上田 真	常勤監査役	川野 輪 政 浩
取締役	岡市 光 司	監査役	竹花 豊
取締役	佐藤 建	監査役	山田 章 雄

(注)取締役吉田栄、岡田茂、桜木君枝及び奈良正哉の各氏は社外取締役、監査役竹花豊及び山田章雄の両氏は社外監査役であります。

グループ会社

株式会社ガイアート

東京都新宿区新小川町8番27号
〒162-0814 TEL(03)5261-9211

ケーアンドイー株式会社

東京都千代田区富士見2丁目7番2号
〒102-0071 TEL(03)3512-2211

華熊營造股份有限公司

台湾台北市大安區敦化南路一段205号
TEL +886-2-2721-0427

テクノス株式会社

愛知県豊川市穂ノ原2丁目1番地
〒442-0061 TEL(0533)84-1111

株式会社ファテック

東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL(03)3235-6269

テクノスペース・クリエイティブ株式会社

東京都豊島区東池袋3丁目12番12号
〒170-0013 TEL(03)5960-1070

株式会社テクニカルサポート

東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL(03)3235-8131

● ホームページのご案内

<https://www.kumagaigumi.co.jp/>

当社ホームページでは、ニュースリリースをはじめ、詳しい事業内容やIR情報などを適時、掲載しています。



トップページ

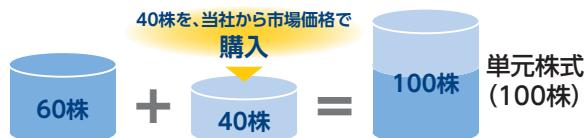


投資家情報

単元未満株式の買増請求制度のご案内

100株(単元株式)に不足する数の株式を、当社から市場価格で買い増し、単元株にすることができる制度です。

(例) 60株を保有の場合、40株を買い増して、100株とすることができます。



各種お手続きのお申し出先

- ①証券会社口座にある株式 → お取引先の証券会社
- ②特別口座にある株式 → 三井住友信託銀行
(下記までお問い合わせください。)

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

☎0120-782-031

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

配当金のお支払期限について

配当金のお支払期限は定款の定めにより支払開始日から3年となっております。

支払開始日から3年以上経過した配当金については除斥期間を経過したものととして、ご請求いただいてもお支払することができません。配当金はお支払開始後お早目にお受け取りください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで	株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月開催	同 連 絡 先	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 剰余金の配当 毎年3月31日 そのほか必要あるときは、あらかじめ 公告して定めた日	郵 送 先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株	電話照会先	☎0120-782-031
上場証券取引所	東京証券取引所	公 告 の 方 法	当社のホームページに掲載します。 < https://www.kumagaigumi.co.jp/ > ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告 をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
証券コード	1861		

表紙写真 工事名:東北自動車道 十和田管内高速道路リニューアル工事 発注者:東日本高速道路株式会社

東日本を貫く交通の大動脈である東北自動車道の老朽化に伴う大規模リニューアル工事の一環として、安代IC(岩手県八幡平市)から碓ヶ関IC(青森県平川市)間の5橋の床版取替工事を行いました。5橋のうち2橋は一部、ほか2橋では全面的に、当社をはじめとする4社で共同開発した新技術「コッター床版工法」を採用することで、従来工法と比べ施工効率の大幅な向上を実現しました。



熊谷組

〒162-8557 東京都新宿区津久戸町2番1号
TEL (03) 3260-2111
<https://www.kumagaigumi.co.jp/>

